

入学を希望する皆さんへ

君津商業高等学校 令和5年度入学生のICT活用について

ICT教育の地域トップランナーを目指します

君津商業高等学校は、創立以来70年超にわたり、先進のビジネス教育を行ってきました。この間、地域のリーダーとなる多くのビジネスマンを輩出し、社会に貢献してきました。

今やあらゆる手続きや申請がICTで行われるなど、これからの時代を生きる子供たちにとって、パソコン等のICT端末は、筆記用具と同じように日常的に使う道具となっています。

君津商業高等学校では、これら社会の進展に対応するために、個人所有のパソコン等を授業や日常生活全般に渡って活用し、情報活用能力の向上を図ることとしました。

伝統と先進が調和する学校、君津商業高等学校は、学びの充実を図る新たなチャレンジを進め、ICT教育の地域トップランナーを目指します。



キャリア教育支援授業

君津商業高等学校におけるICT活用についてのQ & A

Q どのような学習を進めていくのですか。

A 新学習指導要領で求められる探究的な学び等において、必要なデータの整理・分析や資料の作成などを円滑に行うために、学校の授業だけでなく、日常生活全般に渡って端末を活用してICTを活用した学習を充実させ、情報活用能力を身に付けていきます。

Q 新たに端末を購入する必要はありますか。

A 学習活動に活用する端末を各家庭で準備していただきます。家庭に別紙に示す標準的な推奨仕様を満たす端末がある場合は、そちらをお持ちください。新規に購入を希望する家庭には、推奨端末の購入あっせんを行う予定です。

Q 端末の用意が難しいのですが。

A 端末の準備が難しい生徒については、県の貸出用端末を貸与することも可能です。入学後、各担任までご相談ください。

Q セキュリティ対策はしていますか。

A 生徒に不適切なホームページ等のアクセスをブロックします。

Q 通信料や電気代はだれが負担するのですか。

A 県の無線回線に接続する場合は、通信料は県が負担します。家庭で使用する県の貸出用端末や個人で所有している端末の充電については、各家庭で負担していただきます。

Q SNSなどの使い方が心配です。

A 目的以外に使用しないなど、使用のルールを定め、指導していきます。

キャリア教育支援事業とは

令和4年3月策定の県立高校改革推進プランでは、商業科の役割として「地域のキャリア教育の拠点となり、商業教育を中心として小・中学校のキャリア教育を支援する」と示されています。本事業は、プランの内容を踏まえ、本校の商業教育の資産を活用し、義務教育学校の希望に合わせたオーダーメイド型の授業を実施することで、キャリア教育の推進に寄与しようとするものです。授業では、本校職員のほかに母校出身の生徒もサポート役として授業に参加しています。

千葉県立君津商業高等学校